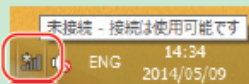
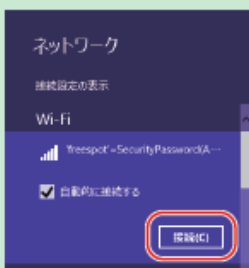


Windows 8.1/8/7

- 1 タスクトレイのワイヤレスアイコンをクリックします。



- 2 「frespot」=SecurityPassword (AES) を選択し、[接続] をクリックします。



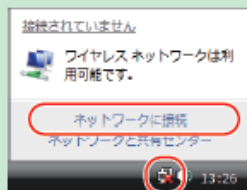
- 3 「frespot」と入力し、[次へ] (または [OK]) をクリックします。
共有に関するメッセージ (例:「このネットワーク上の PC、デバイス、コンテンツを探し、プリンターやTVなどのデバイスに自動的に接続しますか?」など) が表示されたら、「いいえ」をクリックします。



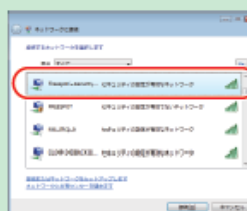
正常に接続が完了したら、ブラウザ(Internet Explorer など)を開きます。

Windows Vista/XP

- 1 タスクトレイのワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックし、「ネットワークに接続」(または「利用できるワイヤレスネットワーク」の表示) をクリックします。



- 2 「frespot」=SecurityPassword (AES) を選択し、「接続」をクリックします。



- 3 「frespot」と入力し、「接続」をクリックします。



正常に接続が完了したら、ブラウザ(Internet Explorer など)を開きます。

Mac

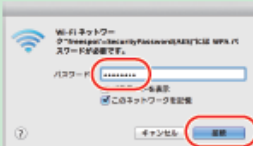
- 1 画面右上のワイヤレスアイコンをクリックします。



- 2 「frespot」=SecurityPassword (AES) を選択します。



- 3 「frespot」と入力し、「接続」をクリックします。



正常に接続が完了したら、ブラウザ(Safariなど)を開きます。

■プリオ内におけるパソコンの無線接続設定

- プリオ内では、インターネットに接続する際にパソコンの無線接続が可能な環境となっています。
この無線環境とは、国内のIT関連企業が無線環境の促進を図るために無償提供している環境設備を、会場管理するプリオ側の好意により成り立っていますが、

以下の接続設定を実施しなければ使用することが不可能です。

- プリオ内で、パソコンの無線接続設定を行う際、パソコン環境により本人認証の確認を求められる場合がありますので事前にメールアドレスを準備下さい。

- また、プリオから自宅、或は別の場所に移動しパソコンを無線、有線接続して利用する際は、その環境に合わせた設定、接続をお願いします。

「おたすけシルバークエスト」としては、ここまでは責任を負うことが出来かねますので、ご了承下さい。

- プリオ内でのパソコン無線接続設定の方法⇒たった2ステップで完了します。

■Step1

お使いの端末のWi-Fiを有効にして、FREESPOTのSSIDに接続してください。

メール認証を行う

FREESPOTに接続してブラウザを開いたら、以下の手順でメール認証を行います。

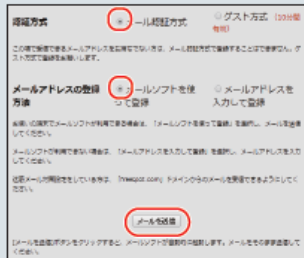
- 1 ブラウザーに表示されている画面に従って設定を行います。利用許諾書を読み、「同意する」を選択してください。



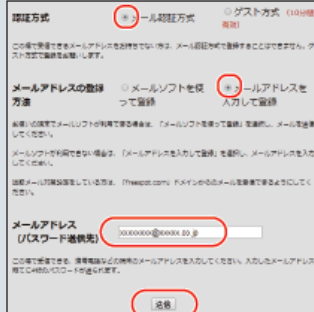
パソコンやスマートフォンなど、メールソフトが搭載されている機器の場合

ゲーム機など、メールソフトが搭載されていない機器の場合

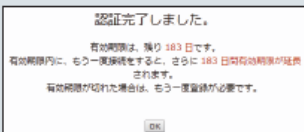
- 2 「メール認証方式」、「メールソフトを使って登録」を選択し、「メールを送信」をクリックします。メール作成画面が開くので、編集せずにそのままメールを送信してください。



- 2 「メール認証方式」、「メールアドレスを入力して登録」を選択し、その場で受信できるメールアドレスを入力して「送信」をクリックします。



- 3 受信したメールに記載されているURLをクリックすると、登録が完了し、インターネットに接続できるようになります。



- 3 受信したメールに記載されている4桁のパスワードを、パスワード入力欄に入力します。「送信」をクリックすると、登録が完了し、インターネットに接続できるようになります。



2回目以降にアクセスするときは

一度登録した機器で2回目以降にアクセスするときは、認証の有効期間内であれば上記のメール認証手順は不要です。そのままインターネットに接続できます。

認証の有効期限は最大6ヶ月です。

FREESPOTの最終利用日から6ヶ月経過すると、自動的に登録が無効になります。

Step2

SSIDに接続後、ブラウザを起動し、ポータルサイトでメール認証の登録を行ってください。

インターネット接続完了です。無料のインターネットをお楽しみください。

●参考知識→パソコン、スマホ、iphone、Android タブレット端末など、デバイスの種類が異なっても考え方は同じな為、覚えておきましょう～！

街中や電車の中でスマートフォンの Wi-Fi 設定を見た時、周辺にあるアクセスポイントのリストがズラリと並んでいることがあります。そのリストに表示されている各アクセスポイントの「名前」が SSID です。

もう少し専門的な話をすると、SSID (Service Set Identifier) とは IEEE802.11 シリーズ (いわゆる Wi-Fi = 無線 LAN の通信規格) で定められているアクセスポイントの識別子のことで、

同じ空間に複数のアクセスポイントがあった場合、混線を避けるために名付けられています。名前の長さは英数半角文字で最大 32 文字。大文字と小文字は識別されます。

Wi-Fi の子機は無線 LAN を経由してアクセスポイントと接続しますが、アクセスポイントが複数ある場合、いったいどのアクセスポイントに接続するべきなのかがわかりません。

あらかじめ設定を登録してあるものは別として、新規接続を行う場合は SSID によってアクセスポイントを識別し、

暗号化キーやパスワードなどでログイン無線接続する必要があります。(公衆 Wi-Fi スポットなどは無線接続とは別に通信用にパスワードが不要な場合もあります)